

市議会だより

6月定例会



西普天間住宅地区の喜友名23号道路の視察を行う総務・経済建設各常任委員会

主な掲載内容

- ◎市民との意見交換会でいただいた
意見の取り扱いについて 2
- ◎一般質問..... 3~10
- ◎6月定例会及び7月臨時会の
主な議案審議内容..... 10~11
- ◎議決結果一覧..... 12

スマートフォンで読み取って
活用してください。



市議会
ホームページ

市民との意見交換会でいただいた意見の取り扱いについて

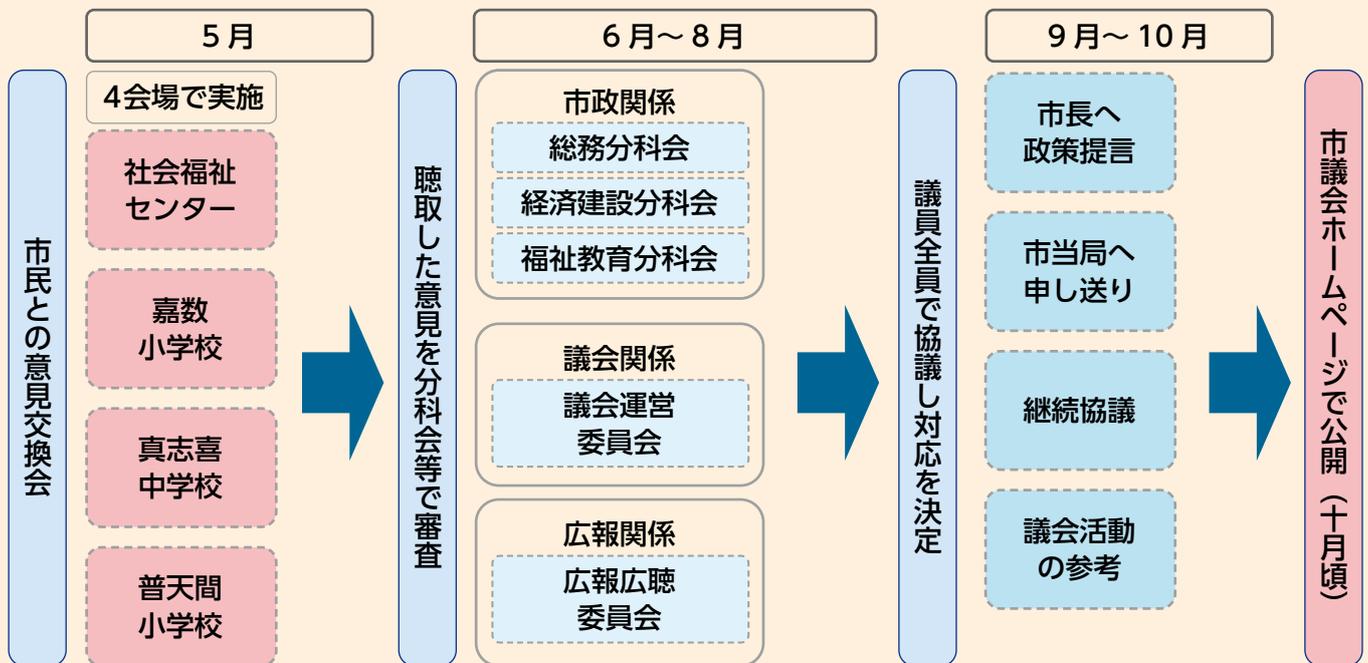
5月14日（火）、15日（水）に開催した「議会報告及び市民との意見交換会」では、参加された皆様やインターネット等により99件のご意見を頂きました。

市民の皆様から頂いたご意見やご要望は、市政の課題として市当局からの参考意見聴取や現場視察等を経て専門の分科会で審査を行い、市長へ提言を行う「政策提言」、ご意見の内容を市当局へ伝達する「申し送り」、調査・審議等を要する「継続協議」、ご意見を議会活動に活用する「参考意見」のいずれかに分類し、対応してまいります。結果等の公表については10月を予定しており、準備が整い次第、市議会ホームページ等で公表してまいります。



現場視察を行う経済建設分科会委員

集約意見の取り扱いスケジュール



6月定例会

令和6年度宜野湾市一般会計補正予算 (第3号)を全会一致で可決

第458回宜野湾市議会定例会は、6月11日から27日までの17日間の会期で開かれました。

今定例会は、令和6年度宜野湾市一般会計補正予算を含む20件にわたる議案等が審議され、22名の議員による一般質問も行われました。

主な議案

- 令和6年度宜野湾市一般会計補正予算(第3号)
- 喜友名23号道路整備工事(4工区)請負契約について
- 令和6年度宜野湾市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

会期日程・議決結果等の詳細はこちら



松川正則市長ご逝去について

松川正則市長が、令和6年7月26日にご逝去されました。

松川市長は、平成30年9月から第18代及び第19代宜野湾市長として本市の発展に尽力されました。

宜野湾市議会として松川市長のご逝去に際し、謹んで哀悼の意を表します。

一般質問

今定例会は、22名の議員から市政全般について、多くの一般質問がありました。

市の様々な課題等について、議員が提言も含めて市に考えを聞く『一般質問』。各議員それぞれの切り口で市政を問います。



議会中継はこちらから



議会会議録はこちらから



各議員の記事から一般質問の録画映像がご覧いただけます。(スマートフォンで読み取りください。)

【安全】生活道路の交通安全対策及び道路整備について



その他の主な質問

- ◎ 台風・災害時に起こる停電等の際の支援について
- ◎ 市道パイプライン及びパイプライン1号の道路整備について

◎ **福祉推進部長** 令和五年四月に市内保育施設を対象に危険箇所に関するアンケート調査を実施し、各園から報告をいただいた関係部署との協議においてキッズゾーンを設定する目的、範囲の設定、具体的な交通安全対策について検討してまいりたい。

◎ **建設部長** 歩行者の安全を考慮した横断歩道カラー舗装化に向け、宜野湾警察署と現場立会いを行いながら進めてまいりたい。

◎ **議員** しののめこども園前通路では大雨が降ると、当該箇所が傾斜地にあり急勾配のため、鉄砲水のように雨が流れ大人でも足を取られる。子供は流される可能性があるため、対応策を関係部署も共に考えていただきたい。また、しののめこども園及び市内保育施設前への「キッズゾーン」設置を改めて要望する。

◎ **議員** 市民駐車場前の横断歩道について、交通マナー、モラルに欠けたドライバーがあり、横断歩道上に車を停車する事からカラー化横断歩道及び「おゆずりエリア」の設置を要望する。



宮城 克 議員



【福祉】生活保護における訪問診療決定までの手続について



その他の主な質問

- ◎ 県による給食費無償化への市の対応について
- ◎ 基地被害110番専用ダイヤル無料化について

◎ **議員** 市民の声に耳を傾け、担当課としてこれまでの対応を振り返り、フローチャートの問題点を洗い出し、改善していただいた。ケアマネジャーの方は大きな前進と、感謝していた。保護課、福祉推進部の職員へ感謝申し上げる。

◎ **福祉推進部長** 医師、訪問看護師、医療ソーシャルワーカーやケアマネジャー等の医療・介護機関の関係者で構成された宜野湾市在宅医療・介護連携推進会議からの御意見を踏まえ、新たに対応手順を作成した。改善点は担当職員であるケースワーカーが問題点や訪問診療の必要性を把握しやすくするため、保護受給者の状況について確認すべき内容を二十項目作成しており、状況に応じて訪問診療の必要性を判断できるように改善した。

◎ **議員** 生活保護受給者の訪問診療の決定方法について、ケアマネジャーの方より状況に応じて、もっと迅速に手続ができないかと強い要望があったが、訪問診療導入のフローチャートについて伺う。



プリティ 宮城 ちえ 議員



【安全】再犯防止推進計画策定について



上地 安之 議員



○議員 再犯防止推進計画策定の取組を伺う。

○市民経済部長 再犯防止推進法第八条において、市町村は地方再犯防止推進計画を定める努力義務が規定されている。同法にのっとり地域再犯防止推進計画策定を進めてまいりたい。

○議員 策定において関係部局間の協議会及び策定委員会に刑務所、BBS会、保護司会、更生保護女性会等、民間団体による策定委員会の発足は重要である。同時に策定後、協議会の立ち上げについても取り組んでいただきたい。

○市民経済部長 国や県の再犯防止施策等の把握を行い、庁内横断的な体制の整備、計画策定委員会の設置及び協議のうえ、計画策定を進めてまいりたい。

○議員 再犯率を下げ、市の安全・安心な社会の実現が最大の目標である。実効性に富んだ計画策定に取り組んでいただきたい。
○副市長 計画策定の際には、庁内横断的な推進体制の整備をしてまいりたい。

その他の主な質問

- 障がい者の経済自立について
- 農福連携マッチング相談会について
- 督促手数料について

【健康】带状疱疹ワクチン接種費用の公費助成について



下地 崇 議員



○議員 带状疱疹について市民から意見が寄せられている。どのような疾患か伺う。

○健康推進部長 带状疱疹とは身体に痛みを伴う水ぼうそうが帯状にできる病気で、体内に潜伏するウイルスが加齢やストレス、疲労などで免疫が低下することで発症する。
○議員 場合によっては重症化するケースもあると聞いたが、市民の罹患数を掌握しているか伺う。

○健康推進部長 感染症法では、带状疱疹は届出疾病に定められておらず人数は掌握できないものと認識している。

○議員 罹患した場合、当事者は大変苦労されることがある。同疾患の予防接種について、公費による助成を要望する。

○健康推進部長 国や県の検討の動向を注視し、引き続き調査研究してまいりたい。

○議員 带状疱疹は重症化によるリスクが懸念される疾患である。他自治体では罹患者の実態調査を行っていると聞かすが、带状疱疹予防に関する市民からの意見について集約する機会を設けていただきたい。

その他の主な質問

- 市道宜野湾十一号との接続道路の整備について
- 小中学校給食費助成について

【消防】救急搬送でマイナ保険証を活用することについて



伊波 一男 議員



○議員 緊急搬送時にマイナ保険証を活用することについての経緯を伺う。

○消防長 高齢化による救急需要の増加がある。現状の救急活動で傷病者情報は主に口頭で聴取を行うが、傷病者本人が既往歴やかかりつけの医療機関名を失念していることや家族等が傷病者の情報を把握していないことが想定されることから、傷病者のマイナ保険証を活用し、オンライン資格確認システムから医療情報等を早期に把握し、救急業務の迅速化、円滑化を目指す。消防庁は全国展開を目指し、今年度は全国六十七消防本部で実証事業が開始される。
○議員 マイナ保険証の情報をどのような仕組みで確認するのか伺う。

○消防長 原則、傷病者本人の同意を得た上で救急隊がカードリーダーで読み取り、情報を取得し搬送医療機関の選定を行う。

○議員 マイナ保険証活用への見解を伺う。
○消防長 本市の救急件数と搬送人員は過去最高を更新しており、情報聴取時間が短縮され、円滑な救急活動が期待される。

その他の主な質問

- 物価高騰対策に関する給付金事業について
- 令和六年十月からの児童手当の大幅拡充について

一般質問

【経済】 宜野湾市中小・小規模事業等エネルギー価格高騰対策助成金について



嶺井 拓磨 議員



◎議員 本事業の想定した対象者数と現在の申請数を伺う。

◎市民経済部長 想定した申請件数は、法人千六百五十件、個人事業主千七百四件の申請率九〇%を見込んでいますが、六月十三日時点での申請数は、法人百六十件、個人事業主二百十件である。

◎議員 申請が少ないことに、市として対策等は検討しているのか伺う。

◎市民経済部長 対策として、申請期限の延長を検討し、申請率を上げるためにさらなる事業の周知に取り組みたい。

◎議員 申請率を上げるため、オンライン等で申請ができるよう手続きの簡素化なども取り組んでいただきたい。また、この予算を現金配布以外の用途として、省エネ製品などの購入に充当できないか伺う。

◎市民経済部長 国の交付金を活用しており、繰越事業に係る実施計画の変更は困難である。本交付金を最大限活用できるような事業の周知を図って申請率を上げていくように努力してまいりたい。

その他の主な質問

◎うなばら保育所の建て替え及び民営化について
◎学校体育施設夜間開放事業について

【教育】 第二次宜野湾市子どもの読書活動推進計画について



岸本 一徳 議員



◎議員 第二次宜野湾市子どもの読書活動推進計画の効果、実績と課題について伺う。

◎教育部長 平成三十一年同計画を策定し、子供が読書の楽しさに気づき、進んで本を読みたくなる環境を家庭、地域、学校で構築する事を目的としている。第一次計画の取組として、岸本議員がこれまで継続的に提言した子育て支援ブックスタート事業や移動図書館「ちゅうらゆめ号」のサービスの充実が成果として挙げられる。小中学校では、読書月間や読書感想文、感想画の取組などを推進した。一方で、計画の普及啓発に課題があった。

◎議員 沖縄県も三月に子どもの読書推進計画を策定し、子どもの読書活動の推進に関する法律では、子供の健やかな成長に資することを目的としている。本市の第三次子どもの読書活動推進計画策定について伺う。

◎教育部長 県の第五次計画を参考にし、第二次の成果と課題を踏まえ、第二次計画を策定してまいりたい。

◎議員 第二次計画の策定をお願いしたい。

その他の主な質問

◎フレイル対策及び第九期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画について
◎生活困窮者自立支援制度及び物価高騰対策について

【建設】 市道我如古21号(上間天がら付近)道路新設整備事業の進捗について



松田 朝仁 議員



◎議員 当該事業については平成二十三年度が工事スタートで令和五年に供用開始の予定であったが延長が懸念される。本年度は一億五千万円余りが予算計上され期待しているが工事等の進捗について伺う。

◎建設部長 昨今の沖縄公共投資交付金減少により今年度は用地購入、物件補償を各一件予定している。令和七年度はいずれも最終年度なので必要額を要望し、令和八年度の工事完了に向け取り組んでまいりたい。

◎議員 当該道路は、違法駐車等があると視界が悪く、事故のおそれがある。現場の調査、安全対策について伺う。

◎市民経済部長 琉球大学への通学、西原方面へ抜ける車両が多く危険性が高い交差点であることを確認している。改めて現地調査や自治会等からの要望も伺いながら必要な安全対策を検討してまいりたい。

◎議員 自治会等に相談が数多くある。本員もお力になりたいと思っている。

その他の主な質問

◎我如古グスク試掘調査の進捗について
◎市民会館施設整備事業について
◎市民図書館施設整備事業について

【文化】市指定史跡「野高スティバナビラ石畳道」の復元について



屋良 千枝美 議員



◎議員 琉球王国の時代に整備された野高スティバナビラ石畳道の文化講座の周知方法と目的について伺う。

◎教育部長 石畳道を地域で保存、積極的に活用し、史跡の魅力を伝えることを目的としている。周知方法は、文化課のホームページや市報等で行っている。

◎議員 歴史を学ぶ講座は大変すばらしいと思う。十一月の講座「スティバナビラを巡って中城城跡へ行く」との目的を伺う。

◎教育部長 地域の方から、小学生のころ野高の石畳道を通って中城城跡へ遠足に行った思い出を伺った。多くの皆様の記憶にある、各所の文化財を追体験してもらう目的で見学会を設定した。

◎議員 石畳道を市民が気持ちよく使えるよう整備していくと説明があったが、石畳の復元に対する市長の見解を伺う。

◎市長 野高スティバナビラ石畳道を今後しっかりと調査を行った上で、市民や県民に愛されるような文化財になると期待し、しっかりと取り組んでまいりたい。

その他の主な質問

◎普天間基地から派生する騒音被害や米軍機などの墜落事故から市民の命を守る対応の在り方について

【防災】津波警報発令時における市の避難対応の検証と改善策について



棚原 明 議員



◎議員 四月三日の津波警報時に、本市はどのように市民に情報を伝えたのか伺う。

◎総務部長 防災行政無線、個別受信機、緊急速報メール、SNS、ライン、フェイスブックや市のホームページにて市民へ避難指示を発令している。

◎議員 今後の避難情報の伝達方法、または手段の改善策は検討されたのか伺う。

◎総務部長 これまでの情報伝達に加え、緊急速報のFMラジオへの割り込み、多言語での避難呼びかけ、戸別受信機の拡大などを通じて、災害情報の多様化と強化を図ってまいりたい。また、耳が不自由な方が警報や避難指示を受け取れなかった事例を踏まえ、要配慮者への対応について、担当部署や自主防災組織と協議し、改善策を検討してまいりたい。

◎市長 津波警報の対応について、多くの課題が指摘された。特に夜間に津波警報が発生した場合の混乱が懸念される。今後は市民の防災意識をさらに高め、職員体制の問題も含めて取組を進めてまいりたい。

その他の主な質問

【基地】基地被害等への国からの基地交付金等について



桃原 功 議員



◎議員 浦添市も本市と同じく基地があるが、交付金の金額自体は大きく変わらない。墜落、落下物等や、基地の中身が全然違うというリスクに対しての交付額算定基準があるべきと思うが、見解を伺いたい。

◎企画部長 基地交付金には、国有提供施設等所在市町村助成交付金と施設等所在市町村調整交付金があり、前者は、国有資産のうち米軍、自衛隊が使用する土地、建物等に係る固定資産税の代替として交付される。後者は、米軍が建設し、設置した建物等に對する固定資産税が非課税となることへの代替として交付されるものである。

◎議員 市民への被害実態、リスクに対し、国へ増額要求すべきではないか。

◎企画部長 防衛省の補助金には、特定防衛施設周辺整備交付金もあり、これまでも数多くの活用が認められている。また、県内二十四市町村により構成されている沖縄県基地交付金関係市町村連絡会議の役員となっている七市町村で、国に対し予算確保の要望等を行っており、今後も行っていく。

その他の主な質問

◎米軍基地からの蓋然性が高いと思われるPFAS汚染対策及び水道料金への影響について
◎空き家対策等について

一般質問

【教育】 県による中学校給食費無償化への市の対応について

その他の主な質問

◎ 普天間飛行場の即時運用停止と県民・市民が求める辺野古新基地建設断念について

- ◎ **議員** 県の方針に、県市長会の反発があったが、市長も反発をしたのか伺いたい。
- ◎ **企画部長** 給食費無償化は知事の公約であるが、実質的に市町村に二分の一負担を求める内容であり、県市長会から、全額県費負担による無償化の実現を求める要請決議の署名を手交した。なお、当該決議は、県市長会臨時総会にて全会一致で決定している。
- ◎ **議員** 一律二分の一を県が助成する方針について市の考えを伺いたい。
- ◎ **企画部長** 今後も学校給食費無償化の全額県負担による完全実施を求め、県教育委員会の詳細な制度設計を確認していく。
- ◎ **議員** 本市は、昨年度小・中学校も完全に無償化し、実績を上げている。中学校まで半額助成を実施できないか伺う。
- ◎ **企画部長** 学校給食費無償化の全額県負担による完全実施を求めることを基本とし、財政状況や他市町村の動向など、様々な要素を踏まえて検討していきたい。
- ◎ **議員** 県の助成を生かし、まずは、小学校同様中学校も半額助成を実施してほしい。



我如古 盛英 議員



【教育】 県知事公約である学校給食費無償化への市の対応について

その他の主な質問

◎ 自転車の安全対策及びヘルメットの着用義務化に対する推進策について

- ◎ **議員** 県知事は去る五月二十四日、県が負担額の二分の一補助する支援事業を来年度から実施すると発表したが、県市長会が全額県費による無償化を求める決議をしている。その内容について伺いたい。
- ◎ **企画部長** 給食費無償化は知事公約であるにもかかわらず、市町村へ費用の二分の一負担を求める内容で、市町村へ調整、相談を一切行っていない状況であり、県市長会から直接県知事に対し、全額県費負担による学校給食費無償化の完全実施を求める要請決議の書面を手交した。
- ◎ **議員** 本市議会においても、令和五年九月二十八日、学校給食費無償化実現を求める意見書を全会一致で可決し、呉屋議長、伊波副議長、提案者である本員と県へ直接要請行動を行った。今回の県の内容は中学校の給食費半額助成を全市町村へ行う方針であるが、小学生を取り残さないよう、本市としても引き続き県知事公約である小学校給食費無償化を早急に実現するように求めている。伺いたい。



石川 慶 議員



【基地】 基地行政について

その他の主な質問

◎ 大山地区土地区画整理事業と大山ターブックワの保全について
◎ 介護保険料の現状と今後について

- ◎ **議員** 本市の課題に対する要請行動の進捗状況について伺う。
- ◎ **基地政策部長** 去る四月に政府関係省庁に対し、普天間飛行場の早期返還期日の確定、航空機騒音規制措置の遵守、外来機の飛来禁止、米軍人・軍属の綱紀粛正、オスプレイ墜落事故の詳細な事故原因の説明と同飛行場所属オスプレイ十二機程度の県外拠点配備、跡地利用の国主導による積極的な財政支援について要請した。
- ◎ **議員** 相手先とその回答について伺う。
- ◎ **基地政策部長** 内閣総理大臣、内閣官房長官、外務大臣、防衛大臣等であり、政府からは、普天間飛行場の固定化はあってはならず、それぞれの内容についてしっかりと対応してまいりたいとの回答をいただいた。
- ◎ **議員** 交渉は膠着状態に感じる。市民運動とともに同飛行場の閉鎖、返還と返還期日の確定を強く求めていくのはいかがか。
- ◎ **基地政策部長** 長年多くの市民が強く望んでいることであり、あらゆる機会を捉えて求めてまいりたい。



宮城 優 議員



【福祉】 障害者就労支援推進事業所への支援策について



山城 康弘 議員



◎議員 就労継続支援A型事業所のスコア方式による評価項目の見直し内容を伺う。

◎福祉推進部長 今回の報酬改定では、事業所の経営状況の改善や利用者的一般就労への移行を促すため、経営改善計画の作成及び利用者の知識能力の向上支援の取組の評価項目が新たに加わる事になり、これまでに五項目の評価から七項目での評価となった。項目の増加により、スコア方式による各評価項目の得点配分の見直しが行われている。

◎議員 このスコア方式の改定によって、どのような影響が事業所に出ているか伺う。

◎福祉推進部長 令和六年四月一日現在で市内の事業所は八か所あったが、六月一日現在では一つの事業所がB型事業所へ事業形態を変更した事により、現在七か所となっている。A型事業所の数はさらに減少する事が予想される。

◎議員 対象者の受皿作りを、計画相談員と連携しながらしっかりと作っていただきたい。

その他の主な質問

◎第三期宜野湾市国民健康保険財政健全化計画及び国民健康保険事業の現状について

【教育】 宜野湾中学校体育館修繕について



上里 広幸 議員



◎議員 令和四年度に宜野湾中学校体育館の床の早急な修繕が必要だと提言し、学校施設等長寿命化改良事業にて取り組むとの答弁があったが、事業の取組状況を伺う。

◎教育部長 同事業は、施設の長寿命化を図ることによりトータルコストの縮減と平準化を図り、厳しい財政状況下においても計画的な保全を実施することで、安心・安全な教育施設等を維持していくことを目的としている。同体育館は、令和七年度に床改修設計を予定しており、令和八年度に床改修工事を計画している。次年度から二年間かけて改修整備を図るよう努めたい。

◎議員 財源について伺う。

◎教育部長 文部科学省の補助メニューや地方債の活用を基本とし、県や関係部署とも協議、調整を重ねて財源確保に努めたい。

◎議員 学校訪問した際に、同体育館がフル稼働している状況を確認している。安心・安全な施設づくりに取り組んでいただきたい。

その他の主な質問

◎基地から派生する騒音問題への取組について

◎宜野湾市避難行動要支援者支援計画の取組について

【地域】 ふるさと納税自治会応援について



又吉 亮 議員



◎議員 自治会に対する補助金、加入世帯の加算において、年々微減が続いているが、加入率が下がっていく中で、加算額も減っている。そこで、八重瀬町で八重瀬町自治会応援活動寄附金というふるさと納税制度があるが、その内容と実績を伺う。

◎市民経済部長 ふるさと納税を通じて三十四自治会の活動を直接応援することができ、返礼品を希望する場合は、寄附額の五割、希望しない場合は寄附額の九割を指定した自治会に交付する制度で、昨年度は交付金を百五十万円交付したと伺っている。

◎議員 自治会の新たな財源、資金作りになると考える。ぜひとも本市でも導入していただきたい。

◎市民経済部長 当該制度の導入については、自治会運営に必要な事業に活用ができ、自治会の支援につながると認識している。八重瀬町の先進自治体の事例も参考にしながら、研究してまいりたい。

◎議員 本市の財源にもなり相乗効果も期待できるので検討していただきたい。

その他の主な質問

◎学校給食における二次調理食の提供について

◎保育園等における看護師の必要性について

一般質問

【地域】自治会活動活性化について

その他の主な質問

◎生きがい対応型デイサービス事業の目的と周知方法について

◎議員 先日、自治会加入促進強化月間結団式があった。今年度の狙いについて伺う。

◎市民経済部長 自治会ごとに活動を紹介するチラシを作成・全戸配布する。さらに戸別訪問にも活用することで加入促進の効果が期待できるものと考えている。

◎議員 戸別訪問に対する当局の考えと、各自治会の取組状況を伺いたい。

◎市民経済部長 直接市民に加入を呼びかけることで効果が期待できる。実施は十五自治会で、訪問件数の約一〇%が加入した。

◎議員 移動児童館の事業目的と実施場所、参加人数などの利用状況について伺いたい。

◎福祉推進部長 児童センター利用困難地域の公民館にて実施し、居場所づくりに努めている。令和五年度は延べ約千三百人が参加している。

◎議員 自治会活動と高齢者介護予防との関係性について伺いたい。

◎健康推進部長 公民館を提供いただくことで地域の介護予防の拠点ができ、地域交流の活性化にもつながると考える。



伊佐 哲雄 議員



【まちづくり】都市計画道路(仮称)真栄原・真志喜線について

その他の主な質問

◎避難行動要支援者への対応について

◎道路事業における防衛補助関連事業について

◎議員 都市計画道路(仮称)真栄原・真志喜線について、概要等を伺う。

◎建設部長 当路線は、都市計画マスタープランにおいて、県道三十四号線及び宜野湾横断道路を補完する真志喜から真栄原区間を結ぶ路線である。当路線の整備により、県道三十四号線の渋滞緩和等が期待されるものと認識している。

◎議員 事業化に向けての取組状況を伺う。

◎建設部長 当路線が米軍施設内を通過することの課題、高低差処理の課題など、課題解決に困難な状況が続いており、事業化が未定となっている。

◎議員 県道三十四号線の渋滞解消には、当路線の整備が必要だと認識しており、県道への格上げによる県での事業化等も含めて交渉していただきたいかがか。

◎建設部長 当路線の整備により、県道三十四号線の渋滞緩和が期待されるものと認識しており、今後、県道格上げによる整備等も含め、まずは沖縄県と意見交換を行うてまいりたい。



平安座 武志 議員



【平和】平和行政について

その他の主な質問

◎市道宜野湾十一号道路整備について

◎災害発生後の被災者支援について

◎社会福祉協議会について

◎議員 小中学校で、憲法で定める戦争を放棄する平和主義を学ぶ機会があるか伺う。

◎指導部長 小学校では、六年生の社会科の授業で、憲法の三つの原則について学習する。憲法には平和主義の原則が定められており、平和を守ることの大切さ、その意義について理解を深められるよう指導する。中学校では、三年生の公民科の授業にて、憲法の前文で、再び戦争の惨禍を引き起こさないという国民の決意を示していることを学び、その上で平和主義についても触れられており、国際平和を希求する意義が示されている。また、歴史科においても、国民主権、基本的人権の尊重、平和主義の三大基本原則が明確に示されている。

◎議員 第二次世界大戦、太平洋戦争の反省に立って、日本は戦争の放棄、戦力の不保持、交戦権の否認を憲法に定めている。平和主義を含む日本国憲法の三大原則は歴史の中で私たちが生きるために獲得した財産である。宜野湾市が平和で、市民が平和に暮らせるよう市当局に求める。



宮城 政司 議員



【経済】 県の水道料金改定に伴う市の対応について



伊佐 文貴 議員



◎議員 沖縄県企業局の水道料金値上げに至った要因と内容について伺う。

◎上下水道局長 昨年十一月、県企業局の水道料金値上げに関する条例が可決された。要因は、老朽施設の更新に伴う費用増、物価高騰等により急激な経営状況の悪化が見込まれ、水道水の安定供給を継続していくためとの説明があった。

◎議員 物価高騰に続き、水道料金が上がると県民の生活に与える影響は極めて大きくなると思うが、本市の対応について伺う。

◎上下水道局長 本市の水道事業の経営の健全化を図るためにも水道料金改定は必要不可欠であり、改正条例は十二月定例会へ上程する予定である。

◎議員 コロナ禍の中、交付金を活用し、水道の基本料金を補助した実績もあるので、柔軟な国庫補助金を確保していただきたい。
◎副市長 市民や事業者の過度な負担にならないよう適正な料金設定について慎重に検討し、活用できる国の補助メニューについて調査研究してまいりたい。

その他の主な質問

◎市立保育所・幼稚園の認定こども園移行について

【教育】 スクールソーシャルワーカー等活用事業について



座間味 万佳 議員



◎議員 スクールソーシャルワーカー（以下SSW）の定義や役割について伺う。

◎指導部長 SSWはいじめや不登校、児童虐待など子供を取り巻く環境が年々複雑化し、学校だけでは限界があるため社会福祉の視点から相談支援を行う専門職であり、面談等を通じ、必要に応じて社会資源となげ、寄り添う支援を行っている。

◎議員 他にスクールカウンセラー等もあり、各々役割が異なっているが、子供や保護者、業務過多の教員にとって専門性の高いSSWは大きな存在だと思う。現在どのように配置されているか伺う。

◎指導部長 これまでの小中学校全校配置を今年度から小学校拠点型へ変更し、各学校へ一名の計九名を配置している。

◎議員 中学校は、はごろも学習センターにSSWコーディネーターが配置されると認識している。また、SSWを校内自立支援員に、SSWアドバイザーは常勤から非常勤へと変更があった。SSWが身近にない影響を注視してまいりたい。

その他の主な質問

◎男女共同参画の推進について
◎宜野湾市民図書館の取組について
◎ふるさと納税の取組について

六月定例会 主な議案審議内容

令和六年度宜野湾市国民健康保険特別会計補正予算（第二号）

可決

予算の主な内容は、マイナンバーカードと健康保険証の一体化に伴う国保事務処理標準システムの委託料として五十九万五千円を追加補正するものである。

委員会審査においては、委託料の内容について質疑がなされ、これに対し、国保事務処理標準システムのセットアップや検証作業の委託料であるとの答弁がなされた。

本会議の表決に当たっては、賛成多数で原案のとおり可決された。

喜友名二十三号道路整備工事（四工区）請負契約について

同意

キャンブ瑞慶覧（西普天間住宅地区）跡地利用計画に関連し、当該地区から国道五十八号へのアクセスを確保し、津波災害時等の避難路としての機能を構築するため契約を行うものである。

委員会審査においては、道路下の雨水管が川まで伸びており津波時の水の逆流も考えられるが、事業目的にある災害時等の避難路としての機能に問題はないか質疑がなされ、これに対し、道路下へ排水施設を作っており、国道五十八号の排水施設も本工事部分へ接続させるため、逆流が起きたとしても問題はないとの答弁がなされた。

本会議の表決に当たっては、全会一致をもって同意された。

普天間基地周辺の子どもたちを取り巻く空・水・土の安全の保障を求める意見書

可決

沖縄県内において、米軍機による落下物事故及び低空飛行・騒音の被害が生じていることは周知の事実である。特に、市の真ん中に普天間飛行場を抱える宜野湾市においては、その影響が大きい。そこでは市民の生命や安全が脅かされ、子どもたちの学びに影響が出ているという現実がある。

宜野湾市においては、平成十六年八月の沖縄国際大学構内への米軍ヘリ墜落事故、平成二十九年十二月に緑ヶ丘保育園にて米軍機のものと思われる部品が落下した事故、同年十二月の普天間第二小学校グラウンドへの米軍機窓枠落下事故、令和三年十一月の米軍機から落下した水筒が民家の玄関先で見つかった事故などが相次いで生じている。

また、宜野湾市の水道水や湧き水から有機フッ素化合物PFASが検出されている。さらに、令和四年八月の市民グループによる調査では普天間第二小学校グラウンドの土壌からPFASが検出された。それにより同飛行場から派生する被害に対し不安を訴える声が市民から届いている。

日米両政府は、普天間飛行場周辺でできる限り学校や病院などを含む人口稠密地域の上空飛行を避ける場周経路の設定で合意している。この場周経路を遵守し、宜野湾市民の空の安全を確保することに努めるべきである。また、水や土の汚染についても早急に対応すべきである。

よって、本市議会は市民の尊い生命及び財産並びに安心・安全な生活を守る立場から、下記の事項を強く要請する。

記

- 一 米軍機の保育・教育施設などの上空の飛行を禁止すること。
- 一 国による水質・土壌のPFASに関する基準を早急に定め対策すること。
- 一 子どもたちを取り巻く空・土・水の安全を保障すること。

以上、地方自治法第九十九条の規定により、意見書を提出する。

令和六年六月二十七日
沖縄県宜野湾市議会

七月臨時会 主な議案審議内容

米兵による十六歳未満の少女への誘拐と不同意性交事件に関する意見書

可決

令和六年七月五日に議長及び議会運営委員会正副委員長、提案委員の計四名で外務省沖縄事務所、在沖米国総領事館及び沖縄防衛局を訪れ、意見書・抗議決議をそれぞれ手交しました。

※要望事項のみ記載

○被害者と家族に対する謝罪及び精神的ケアも含めて完全補償を行うこと。
○事件の全容解明及び被害者や家族へ配慮した公表を行うこと。
○米軍関係者に対する綱紀粛正及び教育の徹底、再発防止に万全を期すこと。
○日米地位協定を改定すること。
※同日付で、同様の内容の抗議決議も可決されました。

意見書の詳しい内容は
こちらから



外務省沖縄事務所



沖縄防衛局

議員の辞職について

桃原功議員が宜野湾市長選挙に立候補するため、令和六年八月三十一日付けで辞職となりましたことをお知らせいたします。

